



## ロケット甲子園 初出場 初優勝

8月24日(土)に能代宇宙広場(秋田県能代市)で行われた第5回ロケット甲子園で、本校の科学部員5名(2年生2名、1年生3名)による「チーム北鷹」が優勝しました。

ロケット甲子園は、「第9回能代宇宙イベント」(能代宇宙イベント協議会主催、文部科学省等後援)の中で行われた高校生によるモデルロケット全国大会です。今回は5校8チームが参加しました。

自分達で設計・製作したモデルロケットに生卵を2個載せて、最高高度251m、滞空時間48~50秒を目指して打上げ、卵を割らずに回収します。指定高度からはずれほど、また、指定時間帯から外れるほど点数が加算されます。もちろん1個でも卵にひびが入ると失格になります。打上は2回行い、よい方の記録で審査されます。

チーム北鷹の2回目の記録	最高高度 265メートル	滞空時間 42.5秒
--------------	--------------	------------

この記録から計算された得点が67点で、これが優勝得点となりました。(得点が低いほど良く、最も良い得点は0点です。)

実はモデルロケットが完成したのはロケット甲子園の前日でした。これまでたくさんの試作品を作り、いろいろな実験を行ってきたので、完成までずいぶんと時間がかかりました。当然ですが打上実験を一度も行っていないので、無事にモデルロケットを打上げて、無事に生卵を回収できるか全くわかりませんでした。



モデルロケット  
直径 60mm  
高さ 634mm



1回目の発射直後

1回目は300m以上 →



1回目の着地は  
草むらでした。

モデルロケットの製作等について秋田大学の和田豊先生、ロケット甲子園の参加について日本モデルロケット協会の山田誠会長、そして能代宇宙イベントのスタッフの皆様大変お世話になりました。来年6月頃行われる予定の世界大会でも精一杯がんばりたいと思います。